

ふう けい き こう
風景紀行
野沢温泉

92

北信署
 (各署の景勝地等を紹介)

地域と密着した国有林

〔北信署〕野沢温泉村は、長野県の北部に位置し、広大なスキー場と豊富な湯量を誇る温泉は、長野県を代表する観光地のひとつです。

野沢温泉村に關係する国有林は巢鷹山・二ツ橋・北ノ入・水尾山・毛無・芋畑・池の沢国有林の七国有林、一、四九二畝あります。

特に野沢温泉スキー場は、毛無山頂か



バリエーションに富んだゲレンデを有する
野沢温泉スキー場

ら山麓にかけてゲレンデが広がっており、一部に巢鷹山国有林を利用しています。

標高差は一、〇八五メートル、総面積は約二九七ヘクタールにも及び、良質な雪とバリエーションに富んだゲレンデで、初心者から上級者の方まで十分に楽しめることができます。

今シーズンは、十二月一日から天然雪一〇〇％でオープンしており、雪の状況にもよりますが、毎年ゴールデンウィークまで滑走可能です。また、今年には野沢温泉にスキーが伝来して一〇一年目になります。新たな一〇〇年へ向けてスタートしています。

グリーンシーズンは、豊かな自然と親しめる場として利用されており、郷土の森に指定されているブナ林の芽吹きや黄葉、ユキツバキ、サンカヨウ、ヤナギランなどの花々などが高原を彩ります。

七月上旬から八月下旬はスタカ湖キャンプ場が営業されます。高原の静けさとスタカ湖の



スタカ湖キャンプ場

湖畔が抜群のロケーションで人気です。

また、野沢温泉村では、毎年一月十五日に全国的に有名な祭事「野沢温泉村道祖神祭り」があります。

野沢温泉村道祖神祭りは、五穀豊穡、家内安全、無病息災、良縁安産を願う野沢温泉村の伝統行事で、三〇〇年以上の歴史があります。日本の三大火祭りの一つに挙げられています。ブナの大木で造る豪壮な社殿や、その社殿にたいまつで火を点けようとする村民とそれを守ろうとする厄年の男たちの激しい攻防戦が見物で、日本を代表する道祖神行事の一つとして、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

火点けの攻防戦は激しく、火の粉が飛び散り、怒号も飛び交い、見ていて怖いぐらいです。また、高さ二〇メートルを超すブナの御神木で造られた社殿に火が入り崩れ落ちる様も見どころです。

平成十五年には、祭事の総元締めである野沢組惣代と北信森林管理署で「道祖神祭りの森」を池の沢国有林に設定し、道祖神祭りの御神木用材を、将来にわたり持続的な供給と育成を図る目的で整備協定を締結

しています。

平成二十六年度末には北陸新幹線が延伸され、飯山駅も作られブナ材も使用されることが決まっています。交通アクセスも向上し、今後、益々多くの観光客の来訪が期待されます。

◆所在地 (野沢温泉街)

◆アクセス
 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷

◆公共交通機関
 ◎JR飯山線戸狩野沢温泉駅から湯の花号バスで約二十分

◎JR長野駅より野沢温泉行き急行バスで約一時間二十分

◎上信越道豊田飯山インターから国道一一七号線経由、野沢温泉まで約三十分

◎関越道塩沢石打インターから国道三五三号線及び一一七号線経由、野沢温泉まで約一時間二十分

〔**自家用車**〕

- ◎上信越道豊田飯山インターから国道一一七号線経由、野沢温泉まで約三十分
- ◎関越道塩沢石打インターから国道三五三号線及び一一七号線経由、野沢温泉まで約一時間二十分



道祖神祭り (社殿)



道祖神祭りの森 (つる切・除伐実施後)